

# ひだまり通信

No.9 2007年2月



今年は雪がなく楽しみにしていたスキー大会が中止になってしまって残念でした。  
春佳 12才

昨年の豪雪から一転して、雪国とは思えない程暖かく、雪の無い冬を送っております。皆様のところはいかがでしょうか。

庭の福寿草も一足早く花を咲かせております。世界の気温も、2カ月連続で観測史上最高とのことで、地球温暖化が進んでいることを、ひしひしと感じております。

自然と一体化している私達の農業。今年はどうな一年になるのでしょうか。



4月、種まきの始まりです。昨年の春は、雪消えが遅く、低温が続いて、苗の丈が伸びずに、苦労しました。



ようやく緑色になった苗です。



春祭り。満開の桜の下で。



日数をかけ、苗の丈も12cm程になりました。白い根も張ってきました。ハウスから、田んぼへ何かいきます。





5月、商店街では、藤まつりが行われ、賑わいます。治道には、自慢の藤が並びます。審査会もあり、見事な藤の花が人々を楽しませてくれます。



田植えが終わり、静かになった水田で遊ぶカモ達。

田んぼの土手は、たんぽぽの花盛りです。



「バッタさんだよ。かわいいでしょ。」  
田んぼには、色々な種類のバッタがたくさんいます。



この日は、夕焼けがとてもきれいでした。



稲の花です。夏の晴れた日に一斉に咲きます。10時から午後2時の限られた時間に、運がよくと、見ることができます。



7月、田んぼで行われる大花火大会です。ホタルもとんでいて、きれいです。





9月に入り、一面 黄金色に染ります。まもなく稲刈りです。



収穫の秋。刈り取られた稲は、コンバインの中で、もみとわらに分けられます。細かく切られたわらは、田んぼへ返します。



米の検査は、半日かけて、厳密に行われました。平成18年産は、全て一等級でした。



田んぼの角には、コンバインが行けないので、鎌で刈ります。そこにつゆ草があざやかに咲いていました。



あぜ いっぱいに。



新米の出荷が始まりました。小さな手も活躍します。

